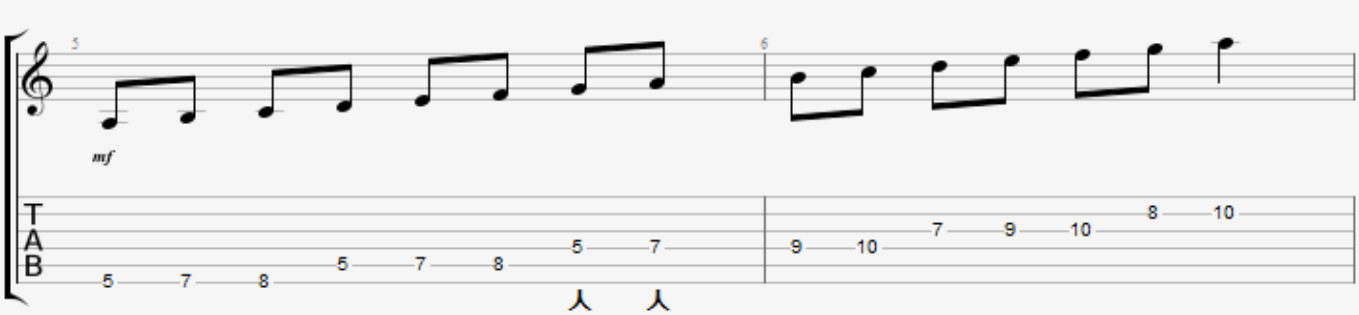
Vol.60　2 つのマイナースケールを混ぜてみる

『10 分トレ』vol.60、始めていきましょう。

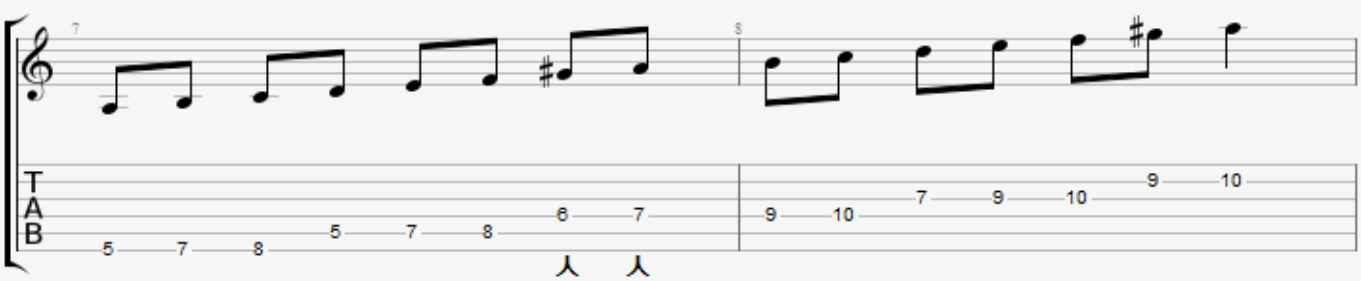
今回は、ナチュラルマイナーとハーモニックマイナーの、両スケールが混ざったフレーズ(動き)を弾いてみましょう。

まずはそれぞれの基本的な弾き方を確認しておきます。

譜例 1、A ナチュラルマイナースケール



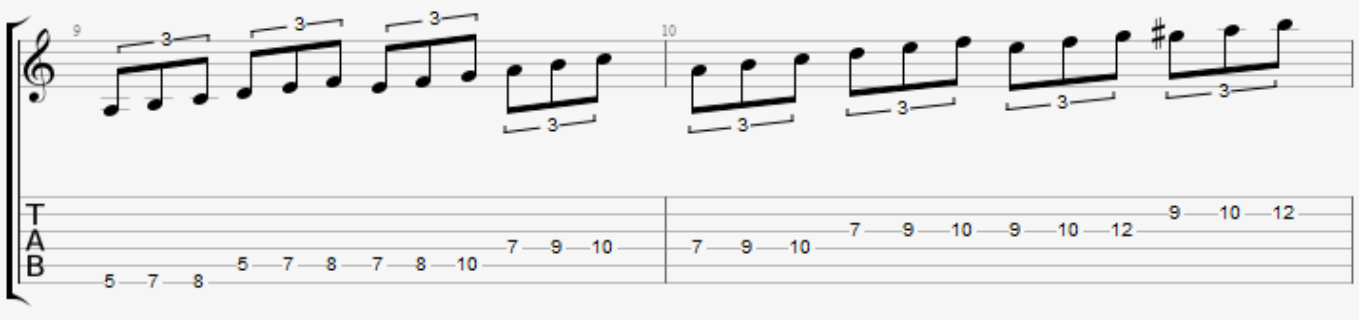
譜例 2、A ハーモニックマイナースケール



見ての通り、7 度(m7th or M7th)が違いますね。

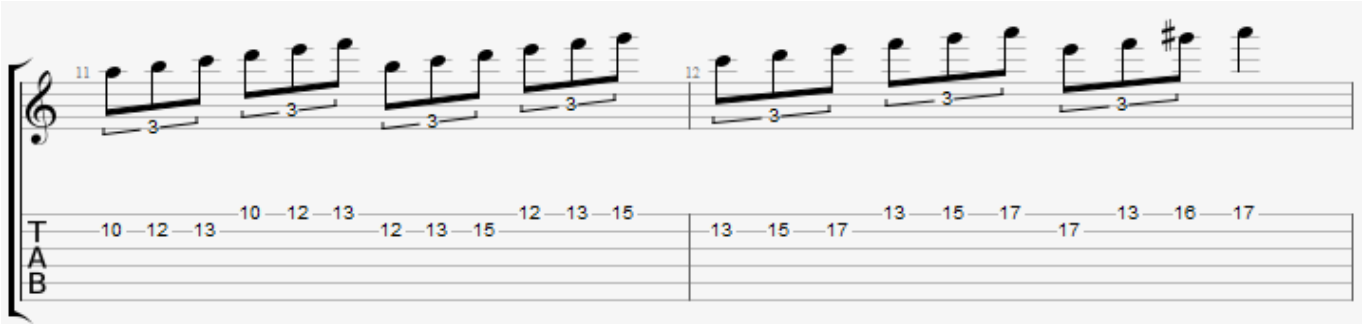
続いて、この 2 つのスケールを混ぜた譜例が以下になります。

譜例 3、ナチュラル&ハーモニックマイナースケール



※次ページの譜例に続きます。

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved



譜例では3連符になっていますが、6連符などの速いフレーズにしてみても良いですね。

こう言った弾き方は、使いどころに少し気を付ける必要がありますが、例えば両スケールのダイアトニックコードの内、両者で一致しているトライアドの進行などでは問題なく使えます。

ナチュラルとハーモニックの両スケールから成り立つダイアトニックコードで、トライアドが一致するものは、Ⅰm、Ⅱm(♭5)、Ⅳm、♭Ⅵ△ですね。
(※ドミナント7thに変化したⅤ△(V7)もですが)

key=Amの場合、Am－F－Dm－Eの様な進行では両スケールを気兼ねなく使えます。

後は、1音の違い(今回の例では7度)くらいなら、一定以上のスピードで弾けば、多少音が外れても気にならない事も多いので、強引に弾ききってしまうのも一つの手段でしょう。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved